

Press Release



2025 年 6 月 13 日
トランスコスモス株式会社

トランスコスモス、教員の働き方改革への取り組みとして 文部科学省「学校における保護者等への対応の高度化事業」に採択

学校・保護者間の新たなコミュニケーションの形を提案 学校教職員の負担軽減と保護者等対応に対する CX 向上への貢献を期待

トランスコスモスは、学校現場における保護者等対応に関する課題解決に向けた実証事業(文部科学省「学校における保護者等への対応の高度化事業(学校における保護者等対応の高度化のための調査研究)」)の事業者として採択されました。本年 6 月より、静岡県裾野市教育委員会と連携し、保護者や地域住民からの学校への問い合わせ業務に関する実証事業(以下、本事業)を開始しています。



本事業では、保護者や地域住民からのさまざまな学校への問い合わせを、トランスコスモスのコンタクトセンターで受付し、一義的な対応を行うことで学校教職員の負担を軽減し、保護者や地域住民との円滑な連携をはかるよう取り組みを行います。裾野市教育委員会および裾野市立小中学校 13 校を実証フィールドとして、学校のさまざまな課題に関する専門家(※)と連携し、教職員の負担軽減や保護者の満足度向上に加え学校現場対応の高度化・効率化を目指します。

※専門家：コーディネーター(過剰な苦情や不当な要求などの複雑な事案への対応)
 カウンセラー(心理的な観点からの対応が必要とされる事案への対応)
 スクールロイヤー(法的なアドバイスが必要とされる事案への対応)

(本事業の背景)

近年保護者や地域からの過剰な苦情や不当な要求など、学校だけでは解決が難しい事案が学校運営上の大きな課題になっており、さまざまな専門家と連携した行政による支援が必要な状況になっています。また、学校現場における電話等による相談・苦情等の連絡対応が、必要以上に教職員の負担になっているとの指摘もあり、学校における働き方改革を加速させる観点からも、案件を外部の機関が一度整理することが教職員の負担軽減や保護者等対応の質の向上へどのように影響するのかを明らかにすることが求められています。

■実証スケジュール及び今後の展開

令和7年6月1日(日)から令和8年1月31日(土)の間での実証を予定しており、今回の実証の結果得られた知見を広く共有していくことを目指します。

■トランスコスモスの社会課題への取り組み

トランスコスモスでは、社会課題の解決に取り組むことで、企業としてのソーシャルインパクトを拡大し、社会全体の Well-being を最大化していくことをパーパスとして、みなさまの SX パートナーとなるべく活動をしています。今後もサステナビリティ推進の一環として教育 DX の取り組みを支援していきます。

※トランスコスモスは、トランスコスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です

※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

(トランスコスモス株式会社について)

トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界 36 の国と地域・185 の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模での EC 市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界 46 の国と地域の消費者にお届けするグローバル EC ワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL: <https://www.trans-cosmos.co.jp>)